第６回「東南海・南海地震等の想定地域における民間の施設・ノウハウを活用した災害に強い物流システムの構築に関する協議会」

＜議録概要＞

・開催日時：平成２５年３月１２日（火）　１５：００～
・開催場所：大阪国際会議場（グランキューブ大阪）　１２階　１２０２会議場

・司会
　資料確認、出席者紹介

議事
・座長
　今回は、本年度最終回となるので、これまで締結された協定について事務局から報告されたい。

・事務局
　府県と物流関係団体との協定締結状況について
　今年度当初、和歌山県と和歌山県倉庫協会と保管、荷さばき、専門家派遣の協定が締結されていた。２５年１月１７日に兵庫県と兵庫県倉庫協会が協定を締結。
　２府県については、秒読み段階。
　２府県については、調整中。
　近畿２府４県と各トラック協会との輸送協定は、締結済み。

・座長
　今年度の重点テーマであった協定締結の推進について、報告があった。
　続いて訓練の実施について、報告願いたい。

・事務局
　広域物資拠点・民間物資拠点における訓練の実施について
　①大阪府・市町村合同地震津波災害対策訓練について
　１月１７日実施。図上訓練（一部実働訓練）。災害対策本部開設から情報伝達等の訓練の中で、物資を取り上げてもらい、そこに参加した。
　物流拠点の整理がつかなくて､仕分けの専門家派遣要請と言う状況を付与した。
　結果としては、協議会の検討内容が災害対策本部内で浸透・ 共有できていなかった。 運輸局もリエゾンとして参加したが、普段から情報交換ができてなかったので、遠慮もあり、連携を模索している状態だった。組織同士の情報交換・共有が大事である。

　②関西広域応援訓練について
　２月１３日　神戸にて実施。すべて図上訓練。
　災害対策本部立ち上げから、第３フェーズ（発災３日後）までの訓練
　第３フェーズから物流（生活物資の供給）に係わった。
　県をまたいだ応援・受援がうまく組めたかどうかを検証した結果、外部検証員

による講評結果は、概ねうまくいったとされている。広域連合内部でどの程度うまくいっていたかは、コントローラーとして参加した立場では不明。
各都道府県の立場でうまくいった点や課題があれば、報告願いたい。

・座長
本年度の重点的な活動として、協定の早期締結と協定を基にした訓練の実施が行われたと言う報告であった。 和歌山県と兵庫は協定を締結され、他の府県は活動中と言うことだが、それぞれの状況を情報交換として伺いたい。

・自治体
倉庫協会、トラック協会、全国物流ネットワーク協会と、今週中には協定を締結できる見通し。

・自治体
トラック協会とはすでに締結済み。倉庫協会とは現在協議中だが、協定案については固まっていて、詰めの調整に入っている。

・自治体
倉庫協会、運輸倉庫協会、大阪府都市開発（株）、ヤマト運輸（株）、佐川急便（株）と５団体との協定を目指して、日程調整などしている状態。案文は固まっているので、今年度中の締結を目指す。

・自治体
３月を目処にと言う話しだったが、文面等は倉庫協会から提示され、時期が遅れるが次回総会を以って了承されることになっている。

・座長
倉庫協会から、また他の府県からコメント・情報があれば、報告願いたい。
協定については、各府県とも着々と進められている。締結した後は、災害があった場合の有効な活用できるよう訓練が大事になる。今年度は物資に特化した訓練はできなかったが、関西広域連合と大阪府の訓練にコントローラーとして参加ができた。
物資に特化した訓練でなかったり、協定が締結されていなかったりで、訓練では、府県の実際の担当者レベルまで充分にハンドリングできるほど取組内容が浸透していなかった。今後この協定をより PR していく必要がある。
訓練に参加した方からの補足、外部から参加した方の情報をいただきたい。
近畿地方整備局から防災訓練について、どう係わったら良いかと言うアドバイスや、広域連合の訓練に参加した感想などコメントがほしい。

・近畿地方整備局
関西広域連合の訓練にコントローラーとして参加したが、規模が大きくて整備局への情報収集や依頼が少なかった。
整備局は地方自治体、建設業協会など、５０機関と協定を結んでいる。建設業協会は国、県、市と協定があり、発災時にその負担が懸念される。包括的に役割分担、どこをどう分担するのか、など指揮系統を見直しして、２５年度の訓練に生かしたい。いざというときに、（建設業協会が）国、県、市町村とどう連携で

きるかを話し合っている。協定を結んだからと言って安心せず、どう活用するのかと言ったことを話合い、訓練で確認してほしい。

・ 座長

大きな災害が起こったときに、国と県と市と協会の役割分担を訓練を通じて、確認し、包括的な運用ができるようにと言う話しだった。参考にしていきたい。

市町村の連携について、大阪市の訓練での話しを聞かせてほしい。

・自治体

大阪市の訓練では、大阪府から海上輸送された物資を、自衛隊と一緒に、大阪市の物資拠点まで運ぶという訓練を行った。通常時だったので訓練上はスムーズだった。今後も継続した訓練が大事だと思った。

・自治体

大阪府の訓練では、府との情報伝達収集訓練が主であった。協議会に関する物資輸送の訓練はできなかった。関西広域連合の訓練では、自治体間の応援の情報訓練はできたが、協会団体との連携ができなかったのが心残りで、次回訓練があれば、直接やりとりができるような訓練ができたらと思う。

・座長

自治体独自の訓練で、企業との連携など参考になるような話があれば、聞かせてほしい。

・自治体

広域連合の訓練は規模が大きく、それだけの規模と人数を有効に使う訓練が今後も必要であると思われる。

・座長

訓練の中で情報付与をして、存在感を高めていき、連携が取れる環境を整えたい。

協定と訓練の話しがあった。訓練は今後も重ねていくことが大事である。

今年度はこれが最終回であるが、来年度以降のあり方について、事務局から説明願いたい。

・事務局

シミュレーションの結果、新たな課題が提起されている。次年度以降も継続して開催していきたい。予算がないので、今年度と同様の形でお願いしたい。

検討課題としては、①から⑤までを、昨年からの継続課題としたい。

①の協定については、未締結の所もあるが、全部締結された以降も内容を見直すなど、できるだけ統一した内容で更新して行く方向で、議論をされたい。トラック協会との協定も輸送だけで、専門家の派遣と言った内容はないので、そのあたりも見直しが必要と考えている。

②の非常用設備については、補助金で支援しているが、自主的に装置を付けていただきたい。

③の訓練については、府県で訓練をされるときに、できれば物資の訓練を組み込んでいただきたい。

④の現在１０８ある民間物資拠点については、見直しをしていきたい。
⑤のブロック内の連絡体制の整備は、事務局の仕事である。
⑥として、これまでの会議の中で、提起された課題を検討していきたい。前回までの課題に優先順位を付けて、ひとつずつ片付けていきたい。
⑦として、規約の制定について。第４回の会議の中で、空中分解しないかという危惧が出されたので、規約を制定したい。第４条で、委員の委嘱をしないで役職指定で委員を固定したい。任期は１年だが自動更新とし、座長は宇田川先生としたい。内容に問題なければ、４月１日から施行すると提案する。

・座長
意見はないか。
持ち帰ってから何かあれば､事務局へ意見を送ってもらうと言うことで良いか。

・事務局
規約については、今、初めてご覧いただき、すぐに了承というのは無理なので、持ち帰って今週中くらいに意見をいただき、修正すべきは修正して、年度内に決めたい。

・座長
この内容については、意見等があれば事務局に連絡してもらいたい。
来年度の会議も引き続き行うこととする。来年度の会議について、何かあれば事務局からお願いしたい。

・事務局
来年度は、協定締結も進んでいることもあり、年間２回の開催で良いかと考えているが、３回必要という意見があれば検討したい。１回目は夏頃、２回目は年度末より前で考えている。
委員から課題があって招集を希望されるなら、開催したい。

・座長
回数は２回。第１回は、各府県の協定が締結した頃が良いかと思う。
検討課題は、協定締結の促進と内容について。広域災害に備えて単独の県だけの協定内容ではなく、市町村を見据えた、県をまたいだ応援できる協定の内容に先々は揃えていきたい。
協定の内容が煮詰まれば稼働するので、訓練に組み込んでもらえるよう、その作戦についても協議できる。
最後に、その他質問指摘があれば伺いたい。

・自治体
この会議は非公開と言うことでよいか。資料や内容により変わるのか。

・座長
規約に書いてあるか

・事務局
書いていない。原則非公開で開催してきた。前回の NHK は、ニュースとして

ではなく、阪神大震災記念ドキュメンタリーの一部として扱いたいと言うことで、特例として承諾した。

・座長

他にコメントやご指導ご意見はないか。なければ、これで閉会としたい。

以上